

消防職員向け 『こどもの食物アレルギー緊急時対応シミュレーション講習会』

2017年1月13日（金）、宮城県消防学校救急実習室にて「宮城県の消防職員を対象にした食物アレルギー緊急時対応シミュレーション講習会」が開催されました。講師は、宮城県立こども病院、堀野智史医師、鈴木千鶴看護師で、県内の消防職員約70名が参加しました。

講演では、ビデオ教材などを用いて、アナフィラキシー症状を発症した児童の処置方法や搬送方法等について学び、演習では、実際にエピペントレーナーを使用して、エピペンを打つ部位や介助方法等について体験しました。

参加者からは、エピペンを現場で実際に使用する機会が少ないため、今回参加したことにより、アレルギー児童への処置方法やエピペンの使用などについて、今後は自信を持って対応できそうだといった感想がありました。

今後も消防職員向けの講習会を継続して行っていくことや学校などの教育関係施設とも連携していくことも重要であると感じた講習会でした。

